事例No.	1652
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	福岡県北九州市、岡垣町、香春町

事例区分	公営企業

タグ	・（公営企業）水道事業 ・公共施設活用 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	広域化等

事例内容・タイトル

周辺水道事業者（岡垣町・香春町）への水道用水の供給

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【福岡県北九州市】
周辺水道事業者（岡垣町・香春町）への水道用水の供給

広域化等　水道事業

福岡県北九州市上下水道局広域・海外事業部広域事業課

● 取組の概要

周辺水道事業者の安定給水の確保及び分水を解消するために、水道用水供給事業を行った。

◆総事業費　施設整備費　岡垣町：なし、香春町：約7億円

◆背景

- 岡垣町では井戸水源の不足により安定給水の確保が課題となっており、本市は平成2年から分水を行っていた。
- 香春町でも同町からの要請があり、本市は平成17年から暫定分水を行っていた。
- また、香春町は分水開始後の平成22年にも原水水質の悪化により大規模な断水が発生するなど安定水源の確保の課題を抱えていた。
- なお、平成14年には、厚生労働省課長通知「水道法の施行について」において分水の解消が求められていた。
- これら課題を解決するため、両町への水道用水供給について検討することとなった。

◆具体的内容

- 岡垣町への分水及び香春町への暫定分水を解消するため、両町への水道用水供給を開始した。
- 岡垣町は、分水で送水していた既存施設を使用したため、施設整備は必要なかった。
- 香春町は、安定給水の向上を図るために本市からの供給量を増やす必要があったことから、それに見合った施設整備（送配水管、配水池等）を行った。

◆効果

- 本市の分水が解消し、両町の安定給水の確保が図られた。
- 香春町は、浄水場の維持管理費の削減（▲約1,300千円/年）が見込まれる。

● 取組のポイント

- 分水による送水実績があったため、既存施設を使用できた。
- 本市が水道用水供給事業の事業認可を取得していたため、変更届出の範囲で実施できた。
- 両町とは普段から技術協力、緊急時の応援協力及び本市技術研修等への両町職員の受け入れなどで連携していたことが、円滑な事業実現へつながった。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　972,433人（令和4年3月31日時点）
- 行政区域内面積　494.74km²（令和4年3月31日時点）
- 給水人口　968,095人（令和3年度決算）

水道用水供給イメージ



● 取組のスケジュール

岡垣町への用水供給

- 平成19年9月分水から用水供給への変更協議開始。
- 平成26年9月岡垣町が用水供給に係る依頼書を提出。
- 平成27年3月事業変更を届出、同4月供給開始。

香春町への用水供給

- 平成23年10月香春町が技術協力を依頼、検討着手。
- 平成25年7月香春町が用水供給を要望。
- 平成25年10月変更認可、平成25年11月事業着手。
- 平成29年4月供給開始。

● 今後の展望

- 北九州都市圏域の中枢都市として、圏域全体に相乗効果が期待できる上水道事業の発展的広域化に向け、積極的に取り組んでいく。
- 課題やニーズがある周辺水道事業者については、連携の可能性について個別協議を行っていく。